

あわ が たけ
栗ヶ岳 ~ 古代の森とススキの草原 ~



栗ヶ岳山頂付近（木の無い部分がススキの草原。茶の字はヒノキ。）

栗ヶ岳について

栗ヶ岳は、掛川市の東にそびえる海拔514mの山です。山頂の阿波々神社は、1200年ほど前に開かれた神社です。

この山は古くから信仰の山として多くの人々が訪れ、古代に神社の代わりに^{あが}拝んだとされる大きな石の^{いわくら}磐座があります。



磐座

自然観察の見どころ

神社の社殿の前には、樹齢300年以上のシイやアカガシの大木が茂る森があり、掛川市の天然記念物に指定されています。この森の木は神様の住む場所として、長い間切られることがなかったので、古くからの掛川の自然の姿をとどめています。

ススキの草原(斜面)

東の斜面は、お茶農家の人たちが、茶畑の敷き草に利用するため、毎年草刈をしているススキやササの草原があります。

草原に生えるキキョウやハルリンドウなどの植物やカヤネズミやカケガワフキバッタなどの動物がいます。

今では各地でこのような草原が減ったため、県内でもこの栗ヶ岳の草原は貴重な場所です。



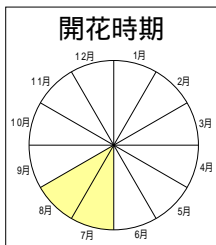
交通アクセス

JR掛川駅よりバス約35分
 (掛川バスサービス東山線)
 東山下車 徒歩約90分
 JR掛川駅より車約35分

粟ヶ岳の観察ルートと観察ポイント

サカキ

神社で神事に使われる木。枝の先につく芽が細長く曲がるのが特徴です。



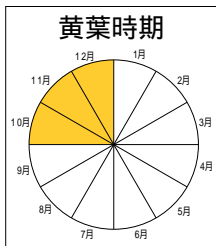
切り株

大きな切り株。
年輪で木の年齢が分かります。
いくつあるかな？



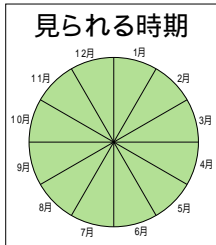
イタヤカエデ

葉が多く、板でできた屋根のようなので、この名がつけました。秋には葉が鮮やかな黄色に彩られます。



御神木のスギ

神社の森の特別な木。太さは直径164cm、高さは35mあり、阿波々神社で一番です。



サカキ / 切り株

イタヤカエデ

タチツボスミレ

磐座

御神木のスギ

大きな木がたくさんあります。

公園

ノウサギのフン
公園内の草地の中にあります。
探してみましょう。



5月頃ヤマツツジが咲きます。

道路沿いにサクラが植えられています。

タチツボスミレ

広い範囲で見られる代表的なスミレです。その他のスミレも見られます。

